

尾張旭市教育委員会

(令和4年10月)

定例会会議録

尾張旭市教育委員会

尾張旭市教育委員会（10月）定例会会議録

- 1 日 時 令和4年10月26日（水） 午後2時00分
- 2 場 所 市役所3階 講堂（2）
- 3 出席者 教育長 河村 晋
委員 山本 真依子
委員 伊藤 智成
委員 松尾 功
委員 鈴木 厚子
- 4 出席職員 教育部長 三浦 明
管理指導主事 伊藤 彰浩
管理指導主事 伊藤 和由
教育政策課長 田島 祥三
学校教育課長 田中 健一
学校給食センター所長 松原 友雄
生涯学習課長 鈴木 直子
図書館長 三浦 明美
文化スポーツ課長 加藤 剛
指導主事 寺田 泰次郎
教育政策課係長 中川 暢顕
教育政策課副主幹 稲生 さより

5 傍聴者 3名

6 会議に付した事件

協議第1号 令和5年度以降の学校給食費の対応について

	開 会 午後2時00分
教 育 長	<p>本日の出席者は5名です。定足数に達しておりますので、ただいまから10月定例教育委員会を開催します。</p> <p>今回は、教育委員の任期満了があり、堀委員が退任され新たに鈴木委員が就任されました。よろしくお願いたします。ご挨拶を後程お願いしたいと思います。</p> <p>すっかりと涼しくなり、秋の気配を感じる季節となりました。暑い夏、熱中症、大雨などをそれほど気にすることなく、新型コロナウイルスも少し収まり、落ち着いて過ごせる日々となってきました。</p> <p>秋と言えば行事の多い季節でもあります。学校では、運動会・体育祭や修学旅行などの季節でもあります。今年の運動会は9月30日の東栄小学校を皮切りに、11月8日の三郷小学校まで、個々の学校ごとの日程で開催されます。その姿は少しずつ変わってきていますが、子どもたちの活躍できる場、保護者や地域の方々の笑顔が溢れる場所には変わりはありません。楽しい思い出となるようにしていただきたいと思います。</p> <p>市民祭については、4年ぶりの開催となりました。台風、コロナ、コロナと3年連続の中止でありましたが、多くの市民の参加を得ての開催となりました。小学生の金管バンドパレードも行うことができ、少ない練習期間ではありましたが、多くの市民の前で披露することができ本当に良かったですと思います。</p> <p>市民の笑顔が少しずつ元に戻り、再び活気ある市になっていくことを望んでおります。</p> <p>それでは続いて私からの報告をさせていただきます。本日の報告は2件です。</p> <p>(資料に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛日地方教育事務協議会 ・尾張部都市教育長会及び尾張部町村教育長会合同会議

	<p>それでは、議事に入ります前に、10月1日付けで教育委員に就任されました鈴木委員からごあいさつをいただきたいと存じますので、よろしくをお願いします。</p> <p>(鈴木委員挨拶)</p> <p>次に教育委員会事務局から順番に自己紹介をお願いします。</p> <p>(事務局自己紹介)</p> <p>次に教育委員の皆様から順番に自己紹介をお願いします。</p> <p>(教育委員自己紹介)</p> <p>それでは、次第の2「前回会議録の承認について」に入ります。各委員は、9月定例会会議録について、訂正等がありましたらお願いします。</p> <p>(無しの声)</p> <p>無いようですので、9月定例会会議録は原案どおり承認します。会議録承認の署名を行う委員は伊藤委員を指名しますので、後ほどお願いします。</p> <p>次に、次第の3報告に入ります。事務局から報告をお願いします。</p>
管理指導主事(伊藤彰)	<p>(資料に基づき説明)</p> <p>・10月校長会議等について</p>
教 育 長	<p>ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。</p>
伊 藤 委 員	<p>学校の様子のうち中学校の体育大会についてですが、保護者からご意見をいただきましたのでお伝えします。中学校3校のうち1校で体育大会の保護者の応援がかなり厳しく制限されていて、他の2校は特段の制限なく応援が出来ていたようでした。保護者は、隣の中学校に通っている保護者と情報交換を頻繁にしています。応援について大きな違いがあることについて、学校側から説明が無いのでどうなっていますかと聞かれました。中学校3校で保護者の応援についてある程度足並みを揃えた方が良いのではないのでしょうか。違う対応を取るのであれば、その理由を保護者に説明していただきたいと思います。そして、応援は1時間と制限したにもかかわらず、最後まで応援していた保護者もいると聞いて</p>

	おり、一度決めた応援の対応を最後までしていただかないと、不平不満が出ると思いますので、これからは十分注意して対応していただきたい と思います。
管理指導主事(伊藤彰)	来年度に向けて、同じ対応をするよう進めていきたいと思います。
教 育 部 長	学校に対する助言、指摘、意見をいただきありがとうございます。今の意見を聞き、生徒・保護者の皆様に淋しい思いをさせたことに残念な気持ちになりました。今以上に尾張旭市の小中学校が児童・生徒の楽しい思い出の場所、地域の方から親しめる場所となるように、管理指導主事、指導主事から各学校に調整・連携をするようにしたいと思いますので、よろしくお願いします。
山 本 委 員	同じ意見を伺ってしまして、コロナ禍で特にですが、学校に保護者が行く機会が減ってしまっていて、先生の人となりや保護者が分からなくなっていることも影響しているのではないかと感じています。そのような中で、学校からの通知に対して、どうにかありませんかと相談しても、どうにもなりませんという回答ですと、不信感ではないのですが、信頼関係が築き上げにくくなっているのではないかと思います。考えて対応していただいていると思いますが、今一度検討する必要があると思います。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
鈴 木 委 員	6年生の「劇場と子ども7万人プロジェクト」は、今年限定の行事でしょうか。6年生の子どもがとても感動していたので、出来れば来年度も本物に触れる機会があればありがたいと思います。
指 導 主 事	7万人プロジェクトは、今年度限りで、昨年度県からお話があり本物に触れて欲しいと考え、今年度実施することが出来ました。来年度も機会があれば、本物に触れる機会を作っていきたいと考えています。
教 育 長	1点目の体育大会の応援についてですが、強い要望があったと思います。学校側にしっかりと要望を伝えていただき、今後の運営に活かしていただきたいです。コロナ禍で色々な行事が変更されたり、学校の取り組み方に変更があります。地域・保護者の理解をしっかりとってください。

	工夫や改善をするのは、学校だけでなく教育委員会でも様々な事業を変更していると思います。多くの市民の意見を求めないと、私達だけの意見ではなかなか判断出来ないと思います。多くの市民・保護者の理解を求めながら、様々な工夫をしていただいて、結果を出していただきたいと思います。
	2点目の6年生の「劇場と子ども7万人プロジェクト」についてですが、コロナ禍で多くの子どもたちが本物に触れる機会を持てていなかったため、予算を確保して参加させていただきました。子どもたちから良い反響があれば、芸術文化センターだけでなく、市の文化会館で開催する等子どもたちが本物を肌で感じる行事を検討していただきたいと思っています。よろしくをお願いします。
教 育 長	それでは、次の報告をお願いします。
教育政策課長	(資料に基づき説明)
	・後援・推薦行事について
	・教育長職務代理者の指名について
教 育 長	ただいまの報告に対しまして、ご意見・ご質問はございませんか。
	(無しの声)
	無いようですので、報告については終了いたします。次に次第の4付議事件に入ります。
	「協議第1号 令和5年度以降の学校給食費の対応について」審議します。事務局から説明をお願いします。
学校給食センター所長	(資料に基づき説明)
	・協議第1号 令和5年度以降の学校給食費の対応について
教 育 長	ただいま説明がありましたが、これに対してご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
鈴 木 委 員	夏の段階で、増額補正して市が負担していることは、市民に対してどこかで周知しているのですか。
学校給食センター所長	ホームページ等では周知していませんが、議会だより等では、記載さ

	れています。
教 育 部 長	積極的な説明はしていない状態ですが、6月議会で補正が決定し、市が負担することは、市議会だより、議事録、広報により周知しております。保護者には、伝えていない状況ですので、伝える必要があったと感じています。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
伊 藤 委 員	今、市が負担している給食費の金額は総額年間でいくらになり、市の予算のうち給食費はどれくらいの割合を占めているのか、市の財布は一つで、限りある中で案3の内容が出来ればいいのですが、市が負担し続けることで他の事業が実施出来なくなるなどの影響が出ては、元も子もないので金額等が分かれば教えていただきたいです。
学校給食センター所長	当初予算の年間の賄材料費は、3億5千万円で、6月の補正は1割に当たる3,500万円の増額補正を行いました。物価が1割程度上昇しても対応できるように増額しました。
伊 藤 委 員	3,500万円は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使用していると思いますが、来年度も同交付金を申請できるのですか。
学校給食センター所長	来年度も新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が出るのかまだ分からないため、たとえ交付金が無くても市の予算で負担出来るように予算要求しております。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
鈴 木 委 員	あさびースマイル給食ですが、アレルギー対応食で全ての子どもたちが同じ給食を食べられることは、とても素晴らしい制度ですので、週1回くらいで実施していただくと、アレルギーの子どもを持つ保護者には、安心感があると思うのですが、アレルギー対応策を進めるための障害が何かあるのでしょうか。
学校給食センター所長	あさびースマイル給食は、学期に1回から始めまして、月に1回に増やし、現在は月に2回となっています。メニューの多様性を考えると、

	週1回は難しいと考えます。費用面は、変わるわけではありません。
鈴木委員	あさびースマイル給食の方が、和食中心で栄養のバランスも良いのではないかと思います。子どもがアレルギーで困っている方の話をよく聞くので検討いただくと有難いです。
教育長	給食費は、基本的に保護者負担となります。様々な社会情勢の中で経済状況が急激に変化した時に、その増額分を保護者にそのまま転嫁させるのは望ましくないため、市行政として交付金を活用して子どもたちの栄養の摂取を考えた上で適正な給食が提供出来るように対応しました。令和5年度以降も、子どもたちが摂取しなくてはならないエネルギーや栄養素を確保することが、給食センターに課せられた課題と思います。来年度いくら給食費として必要か想定していただき、子どもたちに給食が提供出来るよう予算を要求していただきたいと思います。来年度は、どのくらいの額を想定しますか。
学校給食センター所長	6月時点で約1割増額となっていますので、変動はあると思いますが、1割増額は必要になると考えます。
教育長	現段階としては、1割程度増額しないと子どもたちに必要な給食が維持出来ないということですね。給食を維持するためにその1割をいつまで負担するのかですが、国としても社会情勢が安定していないという中で、様々な地域に支援している状況を鑑みると、市が支援していただくと良いかと思います。どうでしょうか。
山本委員	予算が大丈夫であれば、市の負担で維持していただきたいですが、予算が難しいのであれば、状況を見て、保護者に伝えて、段階的に負担することも仕方ないのではと考えますが、今は出来る限り市に負担していただきたいと思います。
松尾委員	他の自治体の状況を見ても、増額分を保護者に負担させていません。先の状況は分からないので、いずれは負担していただかないといけなくなると思われませんが、今は、差額分を出来る限り市が負担する方が良いと思います。

教 育 長	<p>様々な意見を総括的に考えると、今の現状ですと増額分を市で負担していただいた方が望ましいと思います。落ち着いた状況や、コロナ禍が収まってきた時の経済状況が変われば、その時点で再考していかなくてはならない課題と思います。経済が安定した中で市が負担するということであれば、教育委員会だけの話でなくて、子どもたちの発育の問題だったり、尾張旭市としてどこまで子どもたちを様々な形で支援するか市に依頼することが必要と思われま。身体あってこそその子どもたちですので、最低限、子どもたちにしっかり給食の提供を維持するためには、皆さんが言われた意見や、給食センターが示した案3の対応、経済状況が安定するまで、市が財政負担を行うということによろしいですか。</p>
教 育 長	<p>他にご意見・ご質問はございませんか。</p> <p>(無しの声)</p> <p>無いようですので、「協議第1号 令和5年度以降の学校給食費の対応について」は原案どおり可決してよろしいですか。</p> <p>(全員異議なく原案どおり可決)</p>
教 育 長	<p>次に、次第の5その他に入ります。事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育政策課長	<p>(次回定例会日程について説明)</p>
教 育 長	<p>それでは、これもちまして、10月定例教育委員会を閉会いたします。</p>
	<p>閉 会 午後3時4分</p>
	<p>教育長 河村 晋</p>
	<p>委員 松尾 功</p>

